

異質力で、輝く。和光大学

和光大学心理実習センター開設記念イベント 第2弾

参加
無料

シンポジウム 感染症とメンタルヘルス・ケア —HIVとCOVID-19の経験を活かす—

2023年

要事前登録

3月18日 土

11:00-12:30

オンライン開催 (Zoom)

和光大学の心理実習センター新設を記念して、「感染症とメンタルヘルス・ケア」をテーマにシンポジウムを開催いたします。

HIV/エイズの流行から約40年、コロナ流行から約3年が経ちました。マスク着用ルールの緩和が取り沙汰される今、流行初期覚えた不安や恐怖、混乱は頭の片隅にしかないかもしれません。しかし、「感染症」がこころに大きく影響したことは誰しもが感じたことでしょう。

こころを支える専門家は、この経験を、将来起こりうる新たな感染症流行時に活かすことが必要です。本シンポジウムでは、あらためて「感染症」と「こころ」について振り返りたいと思います。

プログラム

- ◆ HIV感染症の心理臨床 ～感染者の心理と支援～
小松 賢亮 - 和光大学
- ◆ COVID-19の心理臨床 ～教育領域における課題と支援～
向笠 章子 - 広島国際大学大学院
- ◆ 感染症の心理と支援 ～COVID-19の電話相談の経験を踏まえて～
矢永 由里子 - 西南学院大学大学院
- ◆ 指定討論
菅野 恵 - 和光大学

* 登壇者情報は裏面に記載

お申し込み方法

オンラインチケットサービス「peatix」にて参加登録受付中！
peatix 申し込み URL : <https://wako-p-ev2.peatix.com/>
(右の QR コードからもアクセス可能)



お問合せ

cocorocorocoro2023@gmail.com
シンポジウム事務局 (小松 賢亮) *~2023年3月30日まで

■ 参加条件：

- ・参加条件はありませんが、内容は、心理職や学生（臨床心理学、そのほか近隣領域）を対象にしています。メンタルヘルスに関する知識をもっていた方が内容を理解しやすいかもしれません。（定員200名）

■ 注意事項：

- ・当日はzoomでの参加になりますので、zoomの利用登録、アップデートを行ってください。
- ・本イベントの様子は録画し、後日、和光大学心理教育学科 YouTube チャンネルでダイジェスト動画として公開される予定です。

■ 登壇者：

向笠 章子（むかさ あきこ）

広島国際大学大学院教授。公認心理師、臨床心理士。久留米大学大学院心理学研究科後期博士課程満期終了。専門は、病院臨床・学校臨床。今回のCOVID-19の感染予防が、児童生徒に対して対人関係の捉え方の変化を生んでいるのではないかと危惧する。主な著書に「感染症と心理臨床」（風間書房）など。

矢永 由里子（やなが ゆりこ）

西南学院大学大学院人間科学研究科非常勤講師。博士(心理学)。公認心理師、臨床心理士、医療福祉連携士。九州大学大学院人間環境学府臨床心理学コース博士課程修了。HIV感染症の患者と家族のケアや、コロナ専門メンタルケアの電話相談などのを行っている。主な著書に「心理臨床実践」（誠信書房）、「『風の電話』とグリーンケア」（風間書房）、「感染症と心理臨床」（風間書房）など。

菅野 恵（かんの けい）

和光大学現代人間学部教授。博士（心理学）。公認心理師、臨床心理士。帝京大学大学院文学研究科心理学専攻博士課程単位取得満期退学。専門は、児童心理学（児童福祉・学校領域）。主な著書に「福祉心理学を学ぶ—児童虐待防止と心の支援—」（勁草書房）、「スクールカウンセリングの『困った』を解決するヒント48」（大修館書店）など。

小松 賢亮（こまつ けんすけ）

和光大学現代人間学部准教授。博士（医学）。公認心理師、臨床心理士。東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科博士課程修了。精神科臨床を経て、国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センターにて、HIV感染症の患者や薬害エイズ被害者の心理臨床を行っていた。専門は医療領域とセクシュアル・マイノリティの心理的支援。主な著書に「感染症と心理臨床」（風間書房）など。

